Course number		U-LAS70 10001 SJ50									
Course title (and course title in English)	コルタントラ ナー・ログ美術デンコー				Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Letters Associate Professor, TANAKA KENICHI				
Group	Seminar	Seminars in Liberal Arts and Sciences				er of credits	2 Number weekly time blo			1	
Class style seminar (Face-to-face course)		Yea	Year/semesters 2025 • First		semester Quota (Freshma		ın)	10 (10)			
Target year	t year students Eligible studen			For all majors			Days and periods		Wed.5		
Classroom	(Main Campus) Language of instruction Japanese							nese			
Keyword	美学美術史学 / 日本 / 絵画・彫刻・工芸品 / プレゼンテーション										

[Overview and purpose of the course]

美術作品はそれを生み出した人や社会とどのように関わるのでしょうか。どのように観察し、どのような問題意識を持てば、作品から人の営みを語ることができるのでしょうか。この授業では日本美術を対象とし、受講者自らが考察対象とする作品を設定して作品研究を遂行し、美術史研究の実際を経験することを目的とします。

[Course objectives]

- ・美術史学の基本的な方法を習得する。
- ・日本文化に対する理解を深める。
- ・ディスカッションする力、プレゼンテーションする力をつける。

[Course schedule and contents)]

授業はゼミナール形式で進めます。資料の収集や分析といった作業、および口頭発表とそれをめぐるディスカッションを行います。受講生には自らの興味関心に基づいて日本美術史から研究対象とする作品を定めて「問い」を設定し、その解明を目指します。

以下の手順で進め、1テーマあたり1~2回の授業日をあてる予定です。授業回数は15回で、最終回はフィードバックです。

- 1.日本美術史の研究方法を知る。
- 2.研究対象とする作品を決定する。
- |3.美術作品を言葉で記述する。
- 4.学術論文を捜索し、研究の論点を知る。
- 5.設定したテーマに関連する作品を収集する。
- 6.パワーポイントを作成して研究結果を報告、議論する。
- 7.学術論文の形式を備えたレポートを作成する。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

討論への参加(40%)、発表内容(30%)、レポート内容(30%)によって、総合的に評価します。

Continue to ILASセミナー : 日本美術史入門(2)

ILASセミナー : 日本美術史入門 (2)
[Textbooks]
プリントを配布する。
[References, etc.]
(References, etc.) Introduced during class
[Study outside of class (preparation and review)]
毎回の授業で課題が提示されるので、次回授業までにそれに取り組むことになります。また、テーマとする作品を設定し、授業の最終段階では口頭発表をもとにレポートをまとめます。
[Other information (office hours, etc.)]
毎回出席できることを前提とし、自らの作業・発表だけでなく、他の受講生の作業を見たり、発表 を聞いて討論することを重視します。
[Essential courses]